

山行報告

■ゆめさきの森公園背山縦走

<女性委員会>

- 日 程：12月13日(日)
- 参加者：La 垣内 SLa 藤原(千) 泉 小田 乙坂 香川 木村 中村
Lb 尾内 SLb 松下 黒本 佐野 田中(由) 福原 松井 村上 矢根
- 行動記録：公園駐車場 9:05 発～池見展望台(9:55 着)～公園最高地点(10:50 着)～通宝寺山(11:00 着)～小坪山(11:55 着)12:20 発～小坪山古墳(12:35 着)12:40 発～弥勒寺(13:05 着)13:15 発～公園駐車場(13:20 着)

◆ゆめさきの森公園背山縦走に参加して

黒本

「ゆめさきの森公園」は、里山を文化・スポーツ・レクリエーション活動の場として、県民とともに守り育てていこうとする「自然活用型野外 CSR 事業」として整備された県立の施設です。多くのボランティアが里山の保全・創造活動に取り組んでいて、登山道も整備されています。

野鳥の餌場があり、さえずりを聞きながら通宝寺池を通り、杉林をジグザグと九十九折りに登り尾根

に出ました。木々の間に緑・赤茶色の秋色の山々を見ながら、登っては下りを繰り返す「見晴らしの道」「岩の山道」「ラクダの背道」と尾根道の特徴を名付けたコースの10個のピークハントをしながら、ゆめさきの森公園の背山をぐるりと縦走しました。急登な所もありましたが、高低差があまりなかったので程好い感じで歩けました。コースには古墳もありましたが、案内板はなく崩れた石積みだけが残っていました。

道中は、木の幹にひっかいたような傷があったり、杉の皮が剥ぎ取られていたり、姿はありませんが、野生動物の形跡を見つけながら歩き、休憩時には、周りの木々にメジロ・シジュウカラ(?)を見る事ができました。通宝寺池には、野鳥の観察小屋があり、手から餌を採るヤマガラもいると聞いたので、次はエサと双眼鏡持参で、野鳥観察をしてみたいと思います。



下山後は、弥勒寺のお庭を散策しました。(弥勒寺は、書写山円教寺の奥の院とも呼ばれ円教寺と密接な関係がある名刹)花はありませんでしたがアジサイの並木があり、その間に千両や万両がたくさん赤い実をつけていました。

お寺の奥には、日本一の大きさを誇る石の布袋様が鎮座していました。(好色しい目をしていると思ったのは私だけでは



ないと思います)「福德円満」と書かれたお賽銭箱が布袋様の首にかけられており、投げ銭をして願い事をしていました。(宝くじが当たるといいですね)

晴れ時々曇り。初冬の冷気を頬に感じながらの里山ハイキングでした。

駐車場では何組か見かけたのですが、途中すれ違うハイカーもなく、コロナ対策を講じての山行計画をありがとうございました。

■ やしろ鴨川の郷周辺

●日 程：12月19日(土)

●参加者：La 藤本 SLa 矢根 尾内 生永 黒本 佐野 須増 田中(重) 田中(由) 春本 福原
Lb 垣内 SLb 瀧原 島谷 田羅間 橋本(健) 橋本(万) 平井 本田 山本(清) 吉村

●行動記録：やしろ鴨川の郷P9:15 発～万丈峠(9:37 着)～IVオノ神(10:00 着)～休憩(10:14 着)10:20 発～R372 出合(10:51 着)～石道標(11:00 着)～シザ坂峠(11:25 着・昼食)11:50 発～婆婆岩(12:30 着・集合写真)12:40 発～IV西山ノ北(13:00 着)発～展望岩(13:10 着)～IV西山ノ北(13:20 着)～下山分岐点(13:40 着)～やしろ鴨川の郷P(14:00 着)

◆ 「やしろ鴨川の郷周辺」の山行に参加して

須増

「やしろ鴨川の郷」は北播磨にあるレジャー施設である。綺麗な建物の本館内の施設案内パンフレットを下山後に見ると、～みどりの風の谷～「やしろ鴨川の郷」。遊ぶ！食べる！泊まる！みんなの楽しみせいぞろい！と書かれていた。テニス・パターゴルフ・グランドゴルフ等が楽しめる施設や泊まれるログコテージ、少し離れた場所にキャンプ場もある。

この日は土曜日で、テニス組とグランドゴルフ組で10人程度の人に来ていた。

ここまでは車では、上三草の国道R372沿いに建つ「東経135度標識」から北へ約2kmの所に三草山があるが、更に7.5kmほどである。この「東経135度標識」から真東へ150mの位置に「日本中央標準時子午線標柱予告⇒(東経135°西へ150m)」の大きな標識があり、二つ接近して存在することを最近知った。

「やしろ鴨川の郷」の近くには約3km北に西光寺山、約7km東に虚空蔵山など名高い山がある。加東神山はこの北側すぐである。今回利用する地形図1/25000は「比延(ひえ)」で西脇市になる。真西へ5km行けば、JR加古川線の「比延駅」が近い。

山々は南北にもつながっており、数曾寺山塊を縦走した人のウェブサイトの投稿を読むと、今回のルート上の「シザ坂」(地元で言われている名前らしい。木の標識では「しら坂」と書かれていた)をゴール地として、この峠を西脇のゴールデンバレーゴルフ場の方へ下ったと書いてあった。ここまで歩く計画をする山好きな人がいることを知った。

数曾寺山塊にも参加した春本さんが、今回歩きながら数曾寺山はどの辺でしょう？と聞くのであっちの方と南を指したが距離は答えられなかった。帰ってから地図で調べて見ると、数曾寺山塊の計画地図上の分岐点から「シザ坂」は2kmほどしか離れておらず意外に接近していた。また、オノ池のほとりに建つ本館を起点に、その北側に「鴨川ひびきの森」という周回のウォーキングコースがあることも後から知った。

また下山後に、そのルート上にある展望台(標高約350m)が見えた。ここは家族連れでも遊べそうである。



今回のコースは、これらの施設が上から見渡せる周囲の山歩きである。「鴨川ひびきの森」の東側の登山口から万丈峠までそのコースの一部を歩き、才神池を挟むように東の尾根をR372まで南下し、上鴨川より西の尾根を北上するような形でスタート地点に戻った。

想像していた通り、やぶ漕ぎの個所もあったが個人的には二週間前に登った数曾寺山塊の方がひどかったので、それほど苦にならなかった。歩く道は下草も伸びて左右から覆いかぶさる所も多かったが、ほぼルート判別はできた。全体に山が整備されておらず、枯れ枝の放置や木の枝は伸び放題のため、上下に注意だけではならず、左右から身体に当たることも多かった。

最近、どこの里山でも家庭で焚き木を使用しなくなったため山は荒れ放題になっている。登山者が歩くことにより、登山道が整備されて歩き易くなることで登山者も増え改善される。コロナウイルス禍であるが、数曾寺山塊の時と同様に今回もすれ違う登山者は無かった。また、師走の山でもあり寒くなる予報があったが、日中は気温も8℃程度で風も弱かった。しかし、午後になると、しら坂トンネルを越えた「婆婆岩」から北部の山を見ると白い雪雲が見られた。

今回、リーダーの藤本さんから登山MAPデータ（GPXデータ）が送られていて、ジオグラフィカをスマホにインストールして、GPXデータも入っている状態で臨んだ。そして、当日は全員が現地集合後にその使用方法の簡単な講習を受けてからスタートした。私の場合、どうも本体への基本ソフトの保存先がまずかったのか？ GPXデータが書き込み表示されなかった。結果として、歩行ルートは分かるのだが、設定ルートとの比較ができない状況となり残念だった。しかし、地図自体は見易くて使いやすいソフトで今後も利用したくなった。

電子地図の利用に関しては、位置情報がとれるメリットは大きいが注意すべき点もある。

最初の登山口の入り口では、本来は展望台へ続く階段道があったと思えるが、少し右に振れて沢沿いを少し歩いてその後合流した。微妙なズレに気が付かなかった。違う場面で、すごいと思ったのは、上鴨川の集落から西尾根への入り口では、民家の畑の横からスッと先頭を歩く藤本さんが、細い路地から迷わず正確に右折し山に入られた。通常なら、このような実績のないマイナーな山では、コンパスと地形図のみ利用だったら、もっと時間を費やして探すポイントだったかもしれない。読図の面白さは、そのようなところにあると思うが、いずれにせよ、ほんの少しのズレで難儀することも有り得るため、自分の目で都度確認・誤差を修正しないといけないと思った。今回は天気も良い中で、新しい知識も学習することができた。

家に帰ってから、藤本リーダーからズボンに付着したダニを3匹見つけたとのメールが届いたが、この時期でも付着していたことにびっくりした。



ダニのこともあるが、前回を含めて二度の藪漕ぎ山行でズボンの裾の生地がボロボロになったので、下草が乾いていてもスパッツの着用がよいのかもしれないと思った。

私が山行の感想文の担当になったのは約1年振りぐらいであるが、山行よりきつい任務であった。

■ご来光登山・高御位山

●日 程：1月1日(金・元旦)

●参加者：L砂川(延) 尾内 乙坂 木下 笹木 澤田(卓) 澤田(律) 島本 三木(悦) 山本(正)

●集合場所：長尾新池駐車場



◆例年通りの参拝者で一杯だった初日の出登山

砂川(延)

長尾駐車場に到着が6時15分頃だった。すでに駐車場はほぼ一杯の状況だった。

高御位山遊会のメンバーがすでに入りで待っていてくれた。みなさんは6時頃には到着していたようだ。例年通り先発で先に出発してもらった。

集合時間の6時30分頃まで待ったが会のメンバーは来なかったので出発する。

上に上がってくると例年通り神社から降りた東尾根にはご来光を待つ参拝者を縫って上らなければ歩けない状況は例年通りで変わらない。

頂上下の高御位神社境内は相変わらず参拝者が参拝のため行列して並んでいる状況だった。

今年は神社の参拝者の志は受けてなかったし、盃の提供も無かったのが少し寂しく感じた。

今年はコロナ禍のこともあり準備できなかったようだった。

ご来光の時間は7時5分の予定だったが、東の山裾に雲が二重にかかり、ご来光が顔を出したのは10分過ぎだった。

お天気が良かったのに少し残念だった。

ご来光を拝んだ後、例年通りに万歳三唱の呼びかけがあり、万歳三唱後、それぞれ下山に向かって移動していった。

■新春トレーニング山行 高御位山～桶居山

●日 程：1月3日(日)

●参加者：1班 L砂川(延) SL島谷 天野 生永 黒本 佐野 森本 矢根 和田
2班 L須増 SL澤田(律) 阿久津 笹木 田中(重) 野村 福原 三木(悦)
3班 L安田 SL上田 尾内 小田 乙坂 橋本(健) 藤原(浩)

●行動記録：

- 1班 新池駐車場 9:15 発～高御位山 10:10～桶居山分岐 11:10～桶居山 12:55～240m 鉄塔のあるピーク 14:00～別所奥山 15:00～鹿島神社 16:30～新池駐車場(17:00 着)
- 2班 新池駐車場 9:15 発～高御位山 10:00 発～桶居山分岐 10:50 発～37番鉄塔(11:55 着) 12:10 発～桶居山(12:20 着・昼食) 12:45 発～37番鉄塔(13:15 着) 13:20 発～別所中池(14:15 着) 14:20 発～209mピーク 15:00 発～百間岩上 15:20 発～鹿島神社(15:30 着) 15:40 発～新池駐車場(16:00 着)
- 3班 新池駐車場 9:12 発～高御位山(9:56 着) 10:05 発～桶居山分岐(10:46 着)～37番鉄塔(11:50 着) 12:10 発～桶居山(12:36 着) 12:46 発～37番鉄塔(13:15 着) 13:20 発～別所中池(14:10 着) 14:20 発～209mピーク(14:59 着) 15:05 発～百間岩上(15:25 着)～鹿島神社(15:40 着) 15:50 発～新池駐車場(16:05 着)

◆初めての新春トレに参加して

森本

入会8年目で初めて新春トレに参加した。毎年1月3日は家内の実家で恒例の親族による新年会があり参加できなかつたが、今年は新型コロナの影響で取り止めとなり参加することが出来た。コロナ様々である。

今年初詣も様変わりとなり、例年早朝は、国道2号線から公園墓地への2車線は鹿嶋神社に参拝する車列で身動きが取れないが、今年は1台から5台程度で驚くばかりであった。

午前9時に長尾新池駐車場に集合した。

事前申込13名と当日参加11名の24名で3班に分かれての山行となった。

新年の挨拶を交わしストレッチの後、班ごとの役割分担を確認中に既に他の2班は出発していた。スタート時点はやや肌寒い気温であったが、登るにつれて汗ばむ状態で山行向きの天気であった。

縦走路では家族連れや少人数のグループとよく出会った。また珍しく犬を連れた二人連れ(一人と一匹)の登山者もあり、これもステイホームの影響か。

桶居山分岐を過ぎて例年のお月見ビバーク設営サイトの先で、他の班は既に谷筋を挟んだ向こうの尾根を歩いており、20～30分離れたソーシャルディスタンスを確保しての歩みであった。山中では花のない時期に赤い実を付けた木々(クロガネモチ?)が目を楽しませてくれた。桶居山山頂では南を見れば遠く明石海峡大橋や四国の島々が、北では六甲山系や丹生山の山々を臨め、素晴らしい景色を堪能できた。



ゴールの駐車場に参考タイムより1時間遅れで到着となった。ストレッチの最中に真っ赤な夕焼けを眺めることができ有意義な新春トレであった。

歩行総数は、23,600歩でした。

◆2班 「お正月のトレーニング!!」

阿久津

新春トレーニングには初めての参加でした。事前のコース案内・予定する歩行時間で、ある程度覚悟していましたが、本当に長い距離で、お正月で怠けた体には良い刺激となりました。

当日は、年末年始に来た大寒波の影響もなくお天気は良好、とてもいい登山日和で、当日参加の方も多く楽しい山行となりました。

高御位山には何度も登っていますが、さすが桶居山の急登…息も上がり、かなりの岩場に登りも下りも必死でした。

見晴らしの良い頂上で昼食を取り、軽くなったザックの代わりに重くなった体にムチを打って先へと進みましたが、別所中池からの歩きでは、前に行く班の姿が励みにもなりつつ、『まだあるの〜』という落胆にもなり(笑)、日が傾きかけ風の冷たさを感じながらも、何とか下山に至りました。



今年はコロナ禍で、鹿嶋神社への初詣も異様に分散したのか、登った山から見た午前中の神社は車も混んでなかったのに、下山する頃は渋滞が起き、賑わいを見せ、皆考えることは同じなのかなあと、今年ならではの風景に驚いた次第です。

最後に、リーダーをはじめ同行いただいた方々、充実した一日をありがとうございました。

◆3班 高御位山～桶居山 今年の体力を占う新春トレ

橋本(健)

今日は穏やかな天候に恵まれ絶好の山行日和である。

コロナ禍で昨年は殆ど山行に参加することが出来なかったのが、今年の体力を占う恒例の新春トレに参加した。

今年は、親戚の集まりが無い、子供や孫が帰ってこない等で参加できる方が多かった。

ストレッチを行い三班に分かれ先ずは高御位山を目指して長尾登山口を3班7名でスタートした。今日のコースは長丁場になるので体力を温存するためストックを最初から使用することにした。きつい坂道で直ぐに汗がにじんでくる。

10時頃に高御位神社に到着し、新型コロナウイルスの終息を祈願した。

神社を出発して暫くすると、目指す桶居山が遠くに見ることが出来た。例年であれば下界を見ると鹿嶋神社の参拝者の車が2号線を超えて並んでいるが、これもコロナ禍の影響か?

桶居山分岐を進むと滑りやすい下りがあり、慎重に進む。昨年、山行のトレでこのコースに来た時にヤマモモが沢山になっていた。今年も山桃の季節にまた来たい。

ようやく37番鉄塔に到着し、昼食後、桶居山を目指す。急な桶居山を息を切らしながら頂上へ。頂上からの360度の眺望は抜群である。海面は、太陽の光を受けて銀色に輝いていた。

下りの途中で1班のチームとすれ違い、お互い励ましながら注意してゆっくりと降りた。別所中池に渡る水路には古くなった丸太橋が掛かっており、いつ折れるかと足を震わせながら渡る。この池の土手には、沢山のワラビが生えて穴場であることを上田さんが教えてくれた。池の横の空き地で休憩して次の急な登り坂に備える。百間岩上を目指すがピークも何度かあり疲労が蓄積してくる。百間岩に膝が持たない。



鹿島神社では、ベビーカステラをお土産に買って帰るメンバーも。スタート地点の長尾新池へ。無事全員完歩でき、リーダー、サブリーダー、皆さん有難う御座いました。来年も参加したいと思います。

■高森ボランティア活動&土曜トレ（バーナーの取り扱い）

- 日 程：12月19日(土)
- 参加者：上田 内海 大谷 佐々木 澤田(律) 砂川(延) 荘所 中村 苦瓜 藤原(千) 三木(悦) 村上 和田
- 集合場所：市ノ池みどりの相談所前 9:00
- 作業場所：2カ所に分かれて作業
 - ①みどりの相談所から公園墓地へ抜ける登山道の草刈り作業
 - ②みどりの相談所から前回、新たに整備した尾根に上がるルートの尾根との分岐点に案内表示板(内海特製)を設置

報告：荘所

当日は多くの方にご参加いただきありがとうございました。作業終了後は土曜トレと合同でバーベキューコーナーでの、ぜんざいパーティーに参加し、佐々木特製のぜんざいに舌つつみをうちました。高御位例会時にでも案内表示板を確認しておいてください。



【案内板設置作業】

【ぜんざい会】